

最新情報！ 認知症専門医から学ぶ医療とケア

社会福祉法人 東北福祉会

〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘 6 丁目 149 番地 1

助成事業の概要

新オレンジプランが目指す社会の実現には「認知症への理解を深めるための普及・啓発に推進」が不可欠ではありますが、地域社会、介護サービス等において、認知症に対する正しい理解や対応が十分図られているとは言えず、未だ偏見や他人事としての認識や、認知症の方の行動や発言等を理解できずに不適切な対応が行われたり、ひどい場合には虐待が行われたなどということもよく耳にするような社会状況もあります。

本事業では、認知症の人やその家族、地域住民、介護や医療の専門職が、一緒に認知症を学び理解を深め正しい認知症ケアを実践する事で、認知症の方の生活の質の向上につながる場としての「認知症ケアセミナー」を実施します。認知症の種類、特徴等を専門分野の医師より講義をすることで、地域住民、介護施設等従事者が認知症についての正しい理解を持ち、認知症と認知症の人に対する理解を深めることにより「認知症を理解しみんなで支えること」、「介護施設等従事者の認知症ケアの質の向上に繋げること」の 2 点を重点目的とし実施いたします。

時期：令和 2 年 9 月 5 日（土） 13 時 30 分～
15 時 10 分

会場：オンラインセミナー

研修名：「最新情報！認知症専門医に学ぶ医療とケア」

内容：「認知症専門医」がもつ多くの知見と実践に基づく認知症の人の医療とケアのあり方や方法、これからの展望など

事業の成果

1. 認知症専門医がもつ多くの知見と実践に基づく認知症の人の医療とケアのあり方や方法、これからの展望などをうかがうことができた。
2. 地域住民や介護施設等従事者に限らず介護者家族等の参加もあり介護者家族ならではの質問や考え方に触れることで、専門職としての役割り、人と人との関り方を学ぶことができた。
3. 新型コロナウイルス感染防止対策の一環としてオンラインセミナーで開催し全国から参加をいただくことができた。また、今後の福祉業界での取り組みとして有効性と発展性について期待を得ることができた。

成果の広報・公表

1. 社会福祉法人東北福祉会ホームページに本事業の実施内容及び成果を掲載し、あわせて「研修事業報告書」及び成果物を PDF 化したファイル（改変等保護済）を作成する。
2. 研修で使用した資料（PP）については、希望者へメールにて送付する。

今後の展開

1. 認知症を理解しみんなで支えること
国においても「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～（新オレンジプラン）」を策定し、認知症の

人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指している。しかしながら、現在一般社会において認知症に対する正しい理解は十分普及しているとはいえ、認知症当事者への偏見や誤解、他人事としての認識等が存在していることから本事業のように認知症の正しい理解のきっかけ作り、機会を設ける活動を継続する。

2. 介護施設等従事者の認知症ケアの質の向上に繋げること

介護や医療の専門職が、一緒に認知症を学び理解を深め正しい認知症ケアを実践することで、認知症の方の生活の質の向上へと繋がり、また、この新型コロナウイルス感染防止対策として福祉施設では外部との接触をなくすため、面会制限を行っている。そういった、閉鎖的な環境が高齢者虐待を招きやすいとも言われており、より、認知症の正しい理解は重要な取り組みとなる。何よりも「みんなにやさしい認知症ケア」の普及活動として今後も継続する必要がある。